

調査C 要介護・要支援認定者調査

分類	問番号	前回 番号	調査項目（案）	設定理由と趣旨	分析の方針
回答者の属性 （本人の状況）	1	1	調査票の記入者	・基本属性を確認する。 ・要介護となった原因や介護者を把握する。	調査結果の分析軸等として活用。
	2	2	性別、満年齢		
	3	3	要介護度		
	4	4	居住地域		
	5	5	家族構成		
	6	6	介護保険の自己負担割合		
	7	7	介護・介助が必要になった原因		
	8	8	主に介護・介助を受けている方		
生活状況	9	9	経済的な暮らしの状況	・生活状況やＩＣＴ機器の利用状況を把握する。 ・健康に対する意識・習慣や孤独感を把握する。	前回調査結果との比較や要介護度や居住地域別の比較。
	10	10	住まいの種類		
	11	11	日常生活において使用しているＩＣＴ（情報・通信）機器		
	12	12-1	かかりつけ医・歯科医・薬局・薬剤師の有無		
	13	13	現在治療中または後遺症のある病気		
	14	新規	孤独感		
介護保険サービス	15	14	現在利用している介護保険サービス、サービスの満足度	・介護保険サービス及び介護保険外サービスのニーズ等を把握する。 ・介護者自身のニーズを把握し、介護者支援施策に活用する。	前回調査結果との比較や要介護度別の比較。
	16	15	介護保険サービス利用料の負担感		
	17	16	介護保険サービスを利用してからの生活環境や身体状況の変化		
	18	17	施設等への入所・入居の検討状況		
	18-1	17-1	希望する施設の種類の		
	19	18	現在利用している介護保険外サービス		
	20	19	在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
	21	新規	介護者自身が受けたい支援		
サービスのあり方	22	20	ケアプランの満足度	・ケアプランやケアマネジャーに対する利用者の満足度を把握する。 ・終末期における介護・医療に対するニーズやACPの認知度を把握する。	前回調査結果との比較や要介護度別の比較。
	23	21	ケアマネジャーの満足度		
	24	22	ケアマネジャーの仕事への評価		
	25	23	今後希望する介護		
	26	24	終末期に介護を受けたい場所		
	27	新規	延命治療についての考え		
	28	新規	介護・延命治療についての希望を伝えた人		
	29	25	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度		
	30	26	人生の最終段階における医療・介護について行っていること		
相談や権利擁護	31	27	困ったときの相談先	・相談支援や権利擁護に対する認知度や利用意向等を把握する。 ・法人後見人制度に対する認知度や利用意向を把握する。	前回調査結果との比較。
	32	28	「おとしより相談センター」の認知・利用状況		
	32-1	28-1	「おとしより相談センター」を利用したことがない理由		
	33	29	成年後見制度の認知度		
	34	30	成年後見制度の利用意向		
	34-1	30-1	成年後見制度を利用したいと思わない理由		
	35	31	権利擁護支援事業の認知度		
	36	32	権利擁護支援事業の利用意向		
	37	新規	法人後見人制度の認知度		
	38	新規	法人後見人制度の利用意向		
認知症	39	新規	認知症についてどのように考えているか	・認知症についての考え、認知症に関し欲しい情報、認知症の方との共生に向けた状況を把握する。	性・年代別、居住地域での分析。
	40	新規	認知症に関する情報について		
	41	新規	認知症になったときどのように暮らしたいか		
	42	34	認知症になったとき住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと		
災害時の対応	43	35	災害に備えてしていること	・災害に対する意識を把握する。	居住地域等での分析。
	44	36	「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度		
高齢者保健福祉施策	45	39	介護保険サービスと介護保険料のあり方	・給付と費用負担のあり方や高齢者保健福祉施策についてのニーズを把握する。	前回の調査結果等により分析。
	46	40	今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策		
	47	41	高齢者向けサービスなどに関する自由意見		

計 50問